

「地域全体でがんと、命と向き合うこと」

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 滋賀医科大学実行委員長  
医学科 5年 宮嶋 佑輔

日本で唯一の「カレッジリレー」、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 滋賀医科大学が無事成功裡に閉幕いたしました。学生による初の試みであった昨年に引き続き、今年もたくさんの方の多大なるご協力を賜りましたことを大変感謝しております。

今年は天気に恵まれ、終始太陽がまぶしいリレー日和の気候の中でみなさんと 24 時間過ごすごことができ、非常にうれしく思っております。その日差しに負けないくらいに、滋賀医科大学の中庭がまぶしい笑顔であふれていたことが強く印象に残っています。

リレー・フォー・ライフでは、「地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す」と謳っていますが、文字通り地域のいたるところで様々な形でご活躍されている方々が滋賀医科大学に集い、お互いのことを知り、お互いの普段の努力を讃え、地域のつながりの輪を広げる機会になったかと思えます。「自分の地域ではこんな人がこんなことをしているんだ！」という発見が、「困ったときはここに相談しよう！」という啓発となり、地域全体でがん患者さんを支援する、「がん患者さんが生きやすい社会づくり」に貢献できると考えています。

また、学生によって運営する「カレッジリレー」の特色として、今回は学生からの情報発信に力を入れ、学生目線で若い世代に向けたがん情報発信を行いました。特に、県内のがん患者さんの治療や相談支援に貢献されている先生方を交えたパネルディスカッションでは、「がん患者さんの就労支援」の情報発信を行いました。働く世代や若い世代ががんについて考えるきっかけになることを願っています。

このイベントが地域のみなさんにとって「がんと、命と、向き合う機会」になっていれば幸いです。つらいことがあっても、必ず綺麗な朝日と共に夜明けがやってくるということ、いつでも人は一人ではなくて支えてくれることがたくさんいるということがメッセージとして発信できていれば良いなと思えます。

今年も学生たちによる試みへの心強い応援ありがとうございました。みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。

来年以降も「日本のど真ん中」滋賀から、学生たちの手で生きる勇気を発信し続けていきます。どうぞよろしく願いいたします！